

いいやまじょうあと
飯山城跡



△飯山城跡

飯山城跡は、市街地中央よりやや北寄りの独立丘陵上にあり、東に千曲川を望む景勝の地に立地する。南に本丸を置き、北に向かって二の丸・三の丸と階段状に配置した梯郭式^{ていかくしき}と呼ばれる平山城であり、西側は帯曲輪^{おびくるわ}・西曲輪・外曲輪に区画され、周囲に一重の濠がめぐらされている。

本丸の南面は、特に防備に意をそそぎ、濠は広く急傾斜で、東・北・西の三面は直立に近い石垣を築いていた。本丸・二の丸・三の丸には、城主の居館・政庁・城櫓があり、西曲輪は重臣屋敷、濠外は家中屋敷や公共施設があった。

永禄7年（1564）に築城したものと思われる。